

## 主題：キリストのからだの実際

### メッセージ 1

#### 奥義的で神秘的なキリストのからだ

聖書：ローマ 12:4-5. I コリント 12:27. エペソ 1:22-23. 4:4, 16. コロサイ 2:19

- I. 神のエコノミーは、御子のためにからだを生み出すことです。このからだは、神を表現しサタンを破壊するという神の願いを成就します——ローマ 12:4-5. I コリント 12:12, 27. エペソ 1:22-23. 4:4, 16. コロサイ 1:18. 2:19. 創 1:26-28。
- II. 主はキリストのからだは諸地方召会において表現される実際を、緊急に必要としています。からだの具体的な表現がないなら、主イエスは戻って来ません——ローマ 12:4-5. 16:16. I コリント 1:2. 12:27. エペソ 1:23. 4:16. 5:27, 30. 啓 19:7。
- III. わたしたちの中での三一の神の働きは、キリストのからだを生み出し建造することです——エペソ 3:16-21. ローマ 8:11. 12:4-5。
- IV. 新契約の務めは、キリストのからだを生み出すためです。新契約の務めがなければ、キリストのからだを生み出す可能性はありません——I コリント 12:12-27. II コリント 3:6, 8-9. 4:1. 5:18。
- V. からだは召会の内在的な意義です。からだがなければ、召会は何の意味もなく、何の意義もありません——ローマ 12:4-5. 16:1. I コリント 1:2. 12:12-13, 27。
- VI. わたしたちはキリストのからだの実際に触れ、召会がキリストのからだであるという栄光の事実を認識する必要があります——エペソ 1:22-23。
- VII. からだは命の支配する法則であり、神の子供たちの働きです——4:4, 16. I コリント 12:4-6, 12-13, 27。
- VIII. ご自身の中のキリストはかしらであり、わたしたちすべての中のキリストはからだです——ローマ 8:10. 12:4-5. II コリント 13:5. I コリント 12:27. エペソ 3:17. 4:15-16. コロサイ 1:18, 27. 2:19。
- IX. 今日、召会のすべての問題は、キリストのからだに関する無知のゆえです——エペソ 1:17-23：
  - A. 最大の問題は、からだを認識せず、からだを顧慮しないことです——17-23 節。
  - B. わたしたちが召会、務め、働きの中で振る舞う方法は、からだを見ている程度にかかっています——使徒 22:10. 26:18-19。
- X. 主の回復は、キリストのからだを建造するためです。ですから、からだを認識することが正常な主の回復です——エペソ 4:4-6, 16：
  - A. わたしたちは命の中のからだを認識する必要があります——I ヨハネ 5:11-12. コロサイ 3:4. 2:19. ローマ 8:2, 6, 10-11. 12:4-5：
    1. キリストのからだは、わたしたちの中の命としてのキリストによって形成されます。この命はわたしたちとミングリングされて、キリストのからだとなります——I ヨハネ 5:11-12. コロサイ 3:4. 1:18. 2:19：
      - a. わたしたちの中の命は「肢体の」命ではなく、「からだの」命です。

- b. わたしたちはみなこの命の中で一です。命の中のこの一は、キリストの奥義的なからだです——エペソ 5:30。
2. 命の中のからだを認識することは、命の経験と霊的な成長の結果です—— I ヨハネ 2:12-14 :
- a. からだを認識し、からだの実際に触れるためには、命の経験と命の成長において前進しなければなりません—— I コリント 3:1-2. 14:20。
- b. 霊的命の第四段階に到達してはじめて、わたしたちはキリストのからだの奥義を認識することができます——エペソ 4:12-13, 15-16。
- c. からだを認識し、からだの中で生きるためには、肉、自己、天然の構成要素を対処する必要があります——ガラテヤ 2:20. 5:24. マタイ 16:24 :
- (1) もしわたしたちがまだ肉にしたがって、自分の中で生き、天然の能力の中で奉仕するなら、からだの命、すなわち、わたしたちの中のキリストご自身は現されることができず、わたしたちはからだを認識することができません。
- (2) 肉が対処され、自己が捨てられ、天然の構成要素が砕かれてはじめて、わたしたちはからだの実際に触れることができます—— I コリント 12:12. エペソ 4:4-6。
3. からだを認識することは、個人主義を対処することです。からだを認識しない人はみな個人主義者です—— I コリント 12:14-22。
4. わたしたちがからだを認識している証拠は、個人主義的になることができないこと、からだの中にいない人を識別することができること、からだの秩序の中で啓示されたかしらなるキリストの権威を承認することです—— 18 節。
- B. わたしたちは実行においてからだを認識する必要があります—— 20, 27 節. 15:58 :
1. 地方召会は、特定の地方におけるキリストのからだの表現です—— 1:2. 10:32 後半. 12:12-13, 20, 27 :
- a. 一つの宇宙召会、すなわちキリストのからだは、多くの地方召会、すなわちキリストのからだの地方の表現となります——ローマ 12:4-5. 16:1。
- b. 唯一のキリストのからだは諸地方召会として表現されます——エペソ 4:4. 啓 1:4, 11。
- c. すべての地方召会は、唯一の宇宙的なキリストのからだの一部、からだの地方の表現です—— I コリント 1:2. 12:27。
- d. わたしたちがからだを認識するなら、わたしたちの考慮の中でからだは第一となり、地方召会は第二となるでしょう——ローマ 12:4-5. 16:1, 4, 16。
2. 主の回復の中でただ一つの働き、からだの働きがあります。今日わたしたちが行なっていることは、わたしたちの個人的な働きではなく、神のエコノミーの働き、キリストのからだを建造することです—— I コリント 15:58. 16:10. コロサイ 2:19. エペソ 4:4, 12, 16。